

アメリカの農業と工業

今日の問い

アメリカ合衆国は、どのようにして世界有数の農業国・工業国になったのだろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 アメリカの農業には、どんな特色があるか。

適地適作・大型機械・穀物メジャー

地域の気候や土に合った作物を育てる ¹ 適地適作 が行われ、南部では ² 綿花、雨の少ない西部では肉牛の ³ 放牧 がさかんである。大型機械を使う ⁴ 企業的な農業 が中心で、穀物は ⁵ 穀物メジャー によって世界中に輸出されている。

2 アメリカの工業は、どのように変わってきたか。

五大湖・サンベルト・ICT

⁶ 五大湖 の周辺では鉄鋼や自動車の工業が発展した。その後、北緯37度より南の ⁷ サンベルト で工業が発展し、 ⁸ シリコンバレー には ⁹ ICT産業 の企業が集まる。世界中で活動する ¹⁰ 多国籍企業 も多い。

まとめ

今日の問いに答えよう。「適地適作」「サンベルト」の2語を使って、2文で書きなさい。

(例)アメリカ合衆国では、適地適作と大型機械を使う企業的な農業で大量の穀物を生産している。工業は五大湖の周辺からサンベルトへと広がり、ICT産業も発展している。

